

K's Report

REPORT

著作権について

「K'sレポート」(以下、本書と表記)は、著作権法で保護されている著作物です。
本書の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

本書の著作権は、株式会社サブライムに属します。

著作権者の事前許可を得ずして、本書の一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、ビデオ、テープレコーダー及び電子メディア、インターネット等)により複製及び転載することを禁じます。

特にインターネット上に、内容を公開した場合は、法的な手段がとられますのでご注意ください。

使用規約

本規約は、本書の利用に関して適用します。

第1条 禁止事項

本書の読者に、本書の著作権を譲渡するものではありません。著作権者の許可なく、本書の内容を電子メディアまたは印刷物など方法を問わず、いかなる目的であれ、転用、複製、販売することを禁じます。

第2条 損害賠償

本書の読者が、第1条に違反した場合、違約金として違反件数に1万円を乗じた金額を、株式会社サブライムに支払うものとします。

また、インターネットにおいての公開により、違反件数が特定できない場合は、100万円を株式会社サブライムに支払うものとします。

第3条 免責事項

本書の情報の実践については、自己責任で行うものとします。

本書の情報を使って、何らかの不利益、損害が生じたとしても、株式会社サブライムは、一切責任を負いません。

あなたは、どこかで「K」の名前を聞いたことがあるかもしれませんが、ここでは、まず初めてということを前提に、挨拶からさせていただきます。

インターネットで
毎月 500 万稼ぐ男「K」

こんな紹介文が、セミナーの募集ページ等では書かれていたりします。

・・・といっても正直、月 8 桁を超えている時もあります。

ただ、私は、「下限値がその人の実力」だと思っているので、
下限値の数字を紹介してもらっています。
(あまり背伸びは好きではありません)

この金額までは、「ほったらかし」に近い状態に入ってきます。
(それ以上になると、「メンテナンス」等が必要だったりします)

それが月 500 万です。

しかし、これは「アフィリエイトのみ」での利益です。
(年商ではありません。利益ベースで話をしています)

その他にも、会社を2つ経営しています。

したがって「アフィリエイトだけしている視野の狭いタイプではない」と
ご理解ください。

■ ルールは変わった

1955年～1973年までの間、日本経済は成長率が年平均10%超の「高度成長」を続け、国民総生産(GNP)は、アメリカに次ぐ第2位の規模(1968年)に達しました。

そして、1973年～バブル崩壊の1991年までの間、「安定成長」を続けていたわけです。

サラリーマンであること、それ自体が「成功だった」時代。
好景気に浮かれていた時代。。

しかし、今はどうでしょうか？ サラリーマンであることが成功でしょうか？？？
「ただサラリーマンを続けてさえいれば、給料は右肩上がり」の時代でしょうか？？？
景気はどうでしょうか？

つまり。。

1955年頃に「社会人」となり、高度成長⇒安定成長「だけ」を経験した世代とバブル崩壊以降に「社会人」となった世代。

そもそも「常識」が違います。給料は今右肩上がりに増えません。
当然、生きてきた「社会ルール」も違います。

ネットもなければ携帯もなかった時代とでは、
人との連絡の取り方ひとつとっても違います。
ポケベルはもうありません。
電話よりもメールで意思疎通をはかる人達も増えています。

前者は「成長」することが「当たり前」とわれていて、
好景気が「当たり前」とわれていました。

後者は、そもそも「年平均10%の成長」など未経験なわけです。
不況で失業率も上がっています。

話は変わって、社会システム的に分岐点となった年があります。

それは 1995 年。

Windows が普及し始めた時です。

そして携帯が普及し始めた時期でもあります。

この頃、私は MAC を使っていて Windows には触ってないので、

MAC の話になりますが、

ネットスケープというブラウザがシェアを占め、

「インターネットの世界」がだんだん広がり始めた時期です。

話を PC 界全体に戻します。

このあたりから一般ユーザーに対して「パーソナルコンピューター」(つまり PC)

の敷居が下がり、だんだん身近なものになっていく「下準備」ができました。

(ポケベルから携帯電話への移行が始まった時期でもあります。)

私自身、1998 年にはアメリカの広告代理店から、

現在でいうところのアフィリエイト報酬を得ていました。

(単にバナー広告費ですが。英語が得意で初めて「良かった」と思った時期です。)

しかし、ネット社会ではまだ市場が整っておらず、

その会社はまもなくつぶれてしまいましたが、

この「広告をサイトに貼り、広告費をもらっていた経験」は後々役に立ちます。)

別の視点から話をしたいと思います

日本の企業における変化についてです。

PC の普及により、今まで「手作業」だった業務はより正確に、

迅速に処理されるようになり、

「PC なんてさわれなくてもええねん」といった「対応力不足世代」は

リストラされるようになりました。

例えば表計算。

PC のソフトを使えば「ほぼ 100%」計算ミスはありません。

当然「計算機+人」というコンボより、表計算ソフトのほうが

☆ 費用もかからず、迅速に、正確に

結果を出してくれます。

ただ「計算」をしていた人達の仕事がなくなるのは当然でしょう。

それから時は流れ、世間の皆さんは「そこそこ」PC が触れるようになってきました。

が。。。

今度は「PC を使えるのは当たり前(端末だし)、次は「ネットの世界」を活用できるどうか？」

が問われるようになってきました。

端末を扱える「オペレーター」的人材の数が増え、「PC 使えます」が

さほど拔き出た存在ではなくなってきたということです。

ちょっと話を戻します。

1994 年当時、ホームページ作成を依頼すると 300 万～500 万円かかっていた時代です。

今は7万もとれればいほうでしょう。

しかし、「今の作製業者のほうがスキルは上」です。

フラッシュも、当時の製作者はできませんでした。

スキルが上なのに、新しいスキルも持っているのに、今のほうが作成費が低い。

では、ホームページ作成代金の単価が下がってきた理由は何でしょうか？

⇒人材が増えた、ホームページ作成業者が増えた

ということです。

この時期、私は1サイト200万円でホームページ作成を請け負っていました。
当然、費用は他社の半額。

大手が作成するものと同程度か、それより見栄えの良いものが迅速にできあがる。
(下請けを通さないので小回りがききました。
各業者に「差」がつけにくかった時代でもあります。
フラッシュなどといった技術はまだなく、
ただ、レイアウトセンスと色目で勝負できたのです。)

⇒当然、流行るわけです。

そして現在。

ほとんどの企業が「ホームページを当たり前のように持ち」、
社員が当たり前のように「PCを扱うことができ」、
先見の明があった企業はすでに「ネットを使った集客や売り上げアップ」を
導入している時代。

1994年までと今とでは「市場のルール」が違います。

今度は「個人」の話です。

1955年～1991年までは「大手にお勤め」であることがステータスであり、
成功でした。

では今はどうか???

個人で「年収1000万」という人がごろごろいます。

あなたの周りにはいない？

それはそうでしょう。

その人達は「ネット世界」というものを「活用」できている人達だからです。

ホームページを作成し、そこで「アフィリエイト」と呼ばれる仕組みを使い、好きな時間に働き、「お勤め」している人達より自由。

「発想」さえあればすぐにサイトを作成し、それにかかる年間経費は 0～年 5000 円程度。
(無料スペースならば「0」。独自ドメイン+サーバーを借りても年間 5000 円)

つまり。。

発想さえあれば、誰でもいきなり「稼げる時代」になったわけです。

実店舗を持つ必要はありません。

人を雇う必要もありません。

必要なのは「PC が使え、ネットを使いこなし、アイデアを出す」だけです。

しかし、これは「市場」というインフラが整っていないとダメです。

1995 年に今と「まったく同じこと」をしても稼げないわけです。

何故なら「ネット市場の成熟」がなされてないからです。

ところが今、市場は整っています。

ほとんどの家庭に PC が 1 台はあります。

そしてその PC は「ネットにつながっている」わけです。

携帯から「ネットの世界」に参加する人も増えています。

団塊世代が退職し、「ネットの世界」に参加し始めています。

あなたのまわりでネットを使っている人はどれくらいいますか？

使っていたとしても、「稼いでいる人」はどれくらいいますか？

使っている人はいても、稼いでいる人は少ないでしょう。

この状況は、私が先行者利益を得た
「ホームページ作成業者が乱立する前」に非常によく似ています。

=チャンスの時期

ということです。

■ 「ツキとチャンスは平等にやってくる」

⇒このレポートを「今の時代に」読んでいるあなたは、ラッキーな人です。

「ツキとチャンス」

これはハッキリと「〇〇だ！」と、断定できません。

形のないものです。

しかし、形のないものこそ大切なものが多いです。

友情、愛、想い。物質ならば空気、水。

形のない大切なものばかりです。

「ツキとチャンス」に関して、こんな話を考えてみました。

例えば、もしタイムマシンがあったとして、

2007年に2009年の為替相場(FX)の情報を手に入れることができたら???

為替相場をしている人にとっては「チャンス」です。

すぐに億万長者になれます。

そんな情報が「先着100名様」限定で公開されたら???

⇒人は殺到します。

ここに、3種類の間がいます。

1. 「これは宝だ！」と確信を持って行動する人(この方は相場を知っていたりします)
2. 「なんやわからへんけど、人が騒いでいるから手に入れなくてはいけない気がする」と思って行動する人
3. そんな情報が公開されることさえも「知らない」まま時間が過ぎていく人

3. は論外な悲しい人です。

では1. と2. の違いは???

実はここに「ツキとチャンス」の謎が隠されています。

どういうことか?

「まったく同じ情報」でも、そもそも為替相場がわからない人には「チャンス」どころか「意味不明」な、ただの数字の羅列にしか見えません。

2. は、同じ情報を幸運にも手に入れたとしても、「なんやこれ?ただの数字の羅列やんけ。」と言うかもしれません。

もしくは、こう思うでしょう。

「せっかく行動したのについてない。ただの数字の羅列を手に入れただけだった」

つまり、「目の前にあるツキとチャンスの種」を育てることのできない人、手に入れたものの価値がわからない人が、この世の中にはいるということです。

この話でわかる通り、「ついてない」と日頃言っている人は「ついてない」のではなく、「気づいてない」or「無知(価値がわからない)」だけかもしれません。

(「ついている人」から見れば「ついている状態」だったとしても、気づけないということです)

この話でわかりにくかった場合、「Windows 95 事件」を例に出してみましよう。

Windows95 が発売された当時、世間では「2. に該当する人」が
パソコンショップに殺到しました。

2. な人 「Windows95 をくれ！」

ショップ店員 「わかりました。Windows95 を搭載した PC はどちらのメーカーにしますか？」

2. な人 「そんなん知るか。とにかく Windows95 が欲しいんや！」(逆切れと言う)

いかがでしょうか？

「2009 年の為替相場情報(つまりお宝)」を「Windows95 (ある一部の人には本当にお宝だった)」
にあてはめて冒頭の話をもう一度読んでみてください。

ここで一番言いたいのは「どんなに価値のある情報も、情報を受ける側の
スキルや知識次第で無価値なものになり得る」ということです。

ハッキリさせておきたいのは「その情報自体が無価値なのではなく、
活用できない人が価値あるものを無価値化させている」という事実です。

少なくともこの無料レポートを手にした方には、そんな
「価値あるものでさえも無価値にする人(その人にとって)」
にはなつて欲しくないと思い、冒頭にこの話をさせていただきました。

もし今あなたが、何か金銭面で悩みを抱えているとしたら、
あなたの人生を一発で逆転させる起死回生の満塁ホームラン・・・！？

に「なるかもしれない」話をします。

何故「かも」なのか？

それは、どんなにそういった話（一発逆転の可能性を秘める話）をしても、「2. な人」は結局無価値なものに変えてしまうからです。

もう一度繰り返します。

ポイントは「かも」です。

全員が全員この話を理解できるとも思えませんし、そんな話はありません。

例えば、「愛が大切」と言ったところで、「けっ、何が愛やねん」と思う人もいます。

少なくともこの無料レポートを最後まで読まれた方の何人かが

「1. な人」として行動してくれれば良いと思っています。

「ルールは変わった」の章で説明させていただいたことを思い出してください。

あなたのまわりに「ネットでホームページやブログに広告を貼っているだけで生活している人」はどれくらいいますか???

1人?2人?3人???

今まさに「アフィリエイトスキルを身につけようとしている人」以外は、

恐らく友人の中にそういう方は1人もいないのではないのでしょうか？

（今アフィリエイトスキルを身につけようとしている人達は、そういった

「ネットで稼いでいる人達が集まっている場所」に参加していると思うので、

ネットで稼いでいる知り合いがいるかもしれません）

■ 格差社会、不況、資本主義について

「富は一部の富裕層に集中し、格差は現在進行形でどんどん広がっている。
そして、国や社会、既得権者はそれをひた隠しにしている」

このことについて、今まで「真剣に」考えたことはあるでしょうか？

情報操作に関して、ちょっと世間ネタを例に出してみます。

酒井法子については、「逃走の全容判明」など、ニュースで散々やっていました。

一方、押尾学の事件は相手が全裸で死亡、死体遺棄の容疑、殺人容疑もあり、
その上その部屋が、ピーチジョン社長の野口美佳の部屋だということで、
こちらの方が事件性は高いのに、ある時期からテレビでは報道されなくなりました。

不思議ではありませんか???

情報操作ってあるんだ~と思った人が何人いたでしょうか???

貧富の差についても話をしたいと思います。

貧富の差が引き起こす問題は、あなたが想像している以上に根が深いということです。
これも先ほどの話での 2. や 3. の人が「気づいてない」点です。

身近なところでは、国民健康保険料の長期滞納を理由に、
保険証を使えない世帯が増えているという事実。

病気になれば病院に行き、治療を受ける。
さも当たり前なのが、格差を理由に当たり前ではなくなりつつあるという現実。

事の重要性に気づけたでしょうか???

近い将来、病気になっても病院にも行けず野垂れ死に
なんて事件が起こるかもしれません。

そうかと思えば、最新医療技術を導入した医療施設の登場。

ここではありとあらゆる医療を受けることができるそうです。
(もちろん、高額なのは言うまでもないことですが)

何が言いたいのか?

人の生死に関わる問題まで格差が支配する時代が
もうすぐそこまで迫っていることに対し、
あなたは下記のどのタイプの人間か?ということ
を今一度問いたいわけです。

1. 行動を起こす人
2. 行動を起こす人を見ている人
3. 何が起きているのか気づいてない人

少なくともこの無料レポートを読まれた方は3.ではなくなります。

世間というものは、肝心な部分に関しては何一つ「本当の姿」を見せません。

(理由は情報操作があり、情報には利権がからむからです。

もし、テレビで報道されるすべてが「真実」だと思っている方がいたとしたら、おめでたい人だと言えるでしょう)

そして、裏で笑っている奴がいるという事実。

(押尾学事件は、なぜ報道が少ないのか?)

だいたい「都合の悪いことは忘れる」ように仕向けられています。

そして、真実はうやむやになっていくわけです。

こういった「世の中の仕組み」に気づけない人達は、

生涯這い上がれないようになっています。

負け組というレッテルを知らないうちに貼られ、搾取され続けるようにできています。

さらに反感を買うような言葉を使うならば、

「世間の本当の姿を見破れなかった罪」という人もいます。

私ならば「無知を放置したこと」は自分の責任

⇒そこから派生することは自分の責任と言えます。

少し過激なことを書きましたが、冷静に考えてもらいましょう。

例えば GNP。

日本は「世界一」になりました。

=もうこれ以上豊かな国はない

という指標です。

が、その当時「一人、一人」は本当に「豊か」だったのでしょうか???

時間があり、お金もある、そんな「豊か」だったのでしょうか???

実は、「恐ろしく豊かな一部の層」が全体の平均値を引き上げていただけです。

いわゆる「庶民」は、そんなに「豊か」ではなかったわけです。

(日本人の平均貯蓄額は 1000 万と聞いたことがありますが、

このレポートを読んでいる何人の方が、何割の方が

その数字をクリアしているのでしょうか???)

わかりやすく言いますね。

貯蓄 1 億の人が 1 人。

貯蓄「0」の人が 9 人。

これで「平均貯蓄額は 1000 万」になります。

いかでしょうか???

このまま「撰取される側」を続けますか?

もし、それがイヤなら、「気づく」必要があると思います。

何に???

「今、目の前に起きていること」にです。

民間企業に勤める人が昨年1年間に受け取った平均給与は429万6000円。

これは、前年を7万6000円(1.7%)も下回り、下落額、下落率ともに過去最大です。

国税庁の民間給与実態統計調査で分かった情報ですが、
この給与額は1990年の425万2000円に次ぐ、18年ぶりの低水準となりました。

最大の要因は、平均賞与が64万6000円と4万1000円減少したことです。
昨年の秋以降の世界的な不況により、多くの企業が軒並みボーナスを削減しています。

これは日経新聞に出ていた内容なので、ご存知の方もいるかも知れません。

もし「知らなかった」ならば、この情報に関してあなたはすでに3.な人です。
ここでも「情報格差」の芽が見えます。

1. 日経新聞を読んでこの数字を覚えている人
2. 読んだけど忘れていた人
3. そもそもそんな情報ソースを持ってない人

あなたはどれですか？

そしてこの三者が「10年後」どういった「差」を持っているかわかりますか???

今世の中が「二極化」しています。

あなたが「イヤだ」と言っても、さらにこういったこと(収入格差)は進むでしょう。

何故か？

楽な仕事がしたい⇒誰でもできるような仕事が楽な仕事
⇒同じ仕事ならば人件費の安い若い子に仕事をふる。

この「雇う側目線」では当たり前なことを、「ただ雇われているだけ」の人は
持っていません。

そして「あーなんか楽な仕事ないかな～」と探しているうちに年をとり、
取り返しがつかない年齢で「こんなはずではなかった。。」となるのがオチです。

「あなたにしかできないもの」がないと、年々仕事がなくなっていくということです。

まとめとして言いたいことは、

1. 収入格差がそのまま「世の中の自分への扱い」に(例 医療)なっていく世の中になってきている
2. 今後のために今「すべきこと」がある

ということです。

■ 何故、私「K」は優良なノウハウを他人に教えるのか？

あなたは、
「優良なノウハウを他人に教えたりするわけがない！」

とか、

「本物のノウハウは、自分で独占するのが当然だ！」
などと考えてはいないでしょうか？

2006 年当時。

私は、確かに「稼げるノウハウは独り占め」というセコイ人間でした。

何故か？

まだ「自分は凄い奴なんじゃない？」と誤解していたからです。

「自分が思いついたことは最低でも 5 人は思いつく」という
世の中の法則を知らなかったこと。

世の中「上には上がいる」にも関わらず、不労所得に近い形で
通常の会社役員の報酬以上のお金が入っていた。

そして、まだ 30 代前半だったことが「視野を狭めていた」理由でもあります。
若気の至りです。

しかし。。

現在 36 歳になり、さらに「その後の自分のビジネス」を考えてみると、
「すいません、やっとスタート地点に立てました」と思えるようになりました。

どういことか???

「稼げる情報」を教材購入者や塾生と「シェア」し始めると、
さらに「稼げる仕事」が紹介されてくることに気がきました。

例えば、ある「稼ぎ方」を誰かに紹介します。
その「稼ぎ方」の目線が「斬新だった」場合、
「こいつだったらこの仕事をどうやって発展させるだろうか？」
と思った人達がさらに色々な仕事の話を持ってきてくれるのです。

このスパイラルは、情報を一人占めしていた時よりも多くの「稼ぎ」を
私にもたらしてくれました。

それを「体感」しているからこそ、さらなる「稼ぎ」のために
進んで情報公開をしています。

私は、偽善者ではありません。

はっきりと本音で物を言います。

志の高いマインドよりも、上記のような

「私の稼ぎをあげるためにまず情報公開⇒その情報を元に稼げる人が多数輩出されること
⇒そしてその稼ぐ力がアップした人に次のビジネス案を持ってきてもらう」
ために情報公開をします。

(情報公開しようと思ったきっかけは志の高いものだったのですが、
だんだん上記のスパイラルがわかってきて、意図的にするようになりました。
それは後半で)

上記の理由により「稼げるノウハウを皆さんに提供して皆さんが稼げるようになれば、将来、私のノウハウで稼いだ人が新しいビジネスネタを提供してくれるかもしれない＝自分のため」、皆さんに「私が稼いでいる方法」を商材や塾で公開しています。

言わば、これは「先行投資」です。

別の言い方をすれば「賄賂」かもしれません。

これが「本音であり、ビジネス部分の話」です。

メンタルな部分の話をすれば「1人で遊んでいてもつまらない」ということです。

私の理想は「日本全国に稼いでいる友人ネットワークを作る」ことです。

これにより「現地ガイド付き(しかも稼いでいる＝その街の松竹梅をすべて知っている)旅行」がそのネットワーク間で可能となります。

■ 月 100 万とか 200 万程度の稼ぎで、コンサル気取りの人もいますが・・・

月100万稼ぐ=年 1200 万。

年収 1000 万で「凄い！」と騒がれたのは、もう数 10 年前のことです。

では、今は？？？ (2009 年)

おそらく年収で 3000 万くらいが、数 10 年前に「年収 1000 万プレイヤー」と呼ばれた人達と同じくらいではないか？と思っています。

物価の上昇で、相対的に年収 1000 万の価値は下がっているからです。

ネットの世界では、月 100 万クラスはごろごろいます。

そして、私が塾長をしているアフィリエイト塾の塾生にも何十人といいます。

=月 7 桁レベルはネット界においては、ガンダムのザクと言っても過言ではありません。

ところで「稼ぐ額」には「その人の器」がでるということにお気づきでしょうか？？？

月 100 万くらいあれば「1 人」でならば、まあ、楽に暮らせます。

しかし家族がいたら？？？

もっと「稼ぎ」を上げたほうが「余裕」が出ます。

塾生を見ていると

5万、10万、30万、50万、100万、300万、500万円代。

この中で100万から500万の間に吹いている「風」は
それまでとは「逆」の風なんだなと思います。

だいたい月500万以上というのは「稼ぐ、稼ぎたい！とは別の問題」があるので、
それをクリアにした人しかいません。

それは何か???

「豊かさ」という逆風です。

アフィリエイトで成功すると、時間とお金が入ってきます。

=1日10時間以上寝ることも、好きな時に好きな場所に行くことも、
だいたいできてしまいます。

その「甘く怠惰な暮らし」の中で、さらに稼ぎを増やそうと思えるか???

大半の人は月300万までで、「月7桁の森」に迷い込みます。

私は、その「迷い」を経験し、卒業したからこそ月8桁になっています。

■ 何故、私「K」は、あなたに稼いでもらいたいのか？

私の目的は、「あなたに稼いでもらうこと」

「きっかけは志が高かった(と自分で思う)」
という話の詳細を説明させていただきます。

まだ、稼ぎが月7桁の頃、家族が10万人に1人の確率でなる病気にかかりました。

ギランバレー症候群と言います。

白血球が自分の体の神経を「異物」とみなして攻撃するのです。

⇒神経がだんだん断絶されます。

テレビドラマなどでは、症状の軽い人が紹介されている気がします。

うちの家族はどうだったか？

⇒重度でした。

「発見が遅れた」の最大の原因です。

何故見つけられたか？というと、

病院を変えてみたら変えた先のお医者さんがたまたまその病気に詳しく、

「すぐ入院」と言ってくれたからです。

もし、1日でも遅れていたら、人工呼吸器のチューブを体に刺すことになっていたでしょう。
神経を破壊する⇒だんだん体が動かなくなっていく。

本人はあまり言いませんが、かなりの恐怖だったと思います。

話を戻すと「この時」が私の転機でした。

半年間の入院で、私の場合は病室のベッドの横で仕事ができただけですが、
ここでまず自分自身が「ラッキーだった」と思いました。

サラリーマンだったら、付き添いができません。

(体を自分で動かせない＝私たちが寝返りを介助してあげないといけない。
トイレにも連れて行かなくてはならない)

看護師さんがやってくれる間は束の間の休息をいただくわけですが、
そこで気づくわけです。

「脳梗塞の方と同じフロアだ」と。

ご家族に脳梗塞の方がいる方はわかると思いますが、
脳梗塞になった方が「稼ぎ頭」だった場合、結構悲惨です。

高額な医療費を稼ぐためにお見舞いに来られなくなるという、
まったくもって矛盾した現実を目の当たりにしました。
(最もサポートが欲しい時期でしょう)

この時に思ったことです。

どう捉えられても結構ですが、私のその時の感情そのままです。

「俺は今ネットで稼ぐ方法を知っている。つまりPCひとつあれば、
そしてそれが「ネットにつながった状態」ならば、いつでも「稼ぐ」ことができる。

出勤する必要もないし、誰かに頭を下げる必要もない。
つまり『いつ働こうが、いくらまで働こうが、自由だ』。

しかし、それをシェアしていない。

この人達(脳梗塞の人達)の家族は、この人達のそばにいられない。

月7桁で自分だけのうのうとしていいのか？」

(7桁レベルでおこがましいと今では思いますが)

元々教材を出した時代(2006年)から、私は友人にアフィリエイトを教えていました。

だいたい月5万~30万くらいになると「ストップ」というか「さぼり」始めますが(笑)

(本人の「これいい」という額がその人の器のような気がします)

=情報シェアを仲間内でする

という気質は持っていました。

しかし、その殻を破るには何か「衝撃的なこと」が必要だったのも事実です。

家族の入院は私自身にとって大変なことでしたが、

同時に「何かを気づかせてくれた」出来事になりました。

以上が「最初は志が高かった(と自分では思う)」部分です。

そして塾が始まり、塾生の中で稼ぐ人が増えてきました。

すると不思議なことに、私自身の稼ぎも増えていきました。

これは「盲点」でした。

2006年のセコイ私では、考えもしなかったことです。

こうしたことを経験し、今では「意図的」に情報をシェアするようにしています。

それは、いずれ自分に返ってくると知っているからです。

今回のレポートも、そういった意味で「このレポートがきっかけ」で「気づき」を得てくれる人がいるであろうし、「稼ぎのきっかけ、ヒント」になる人も出てくるかもしれません。

またそれは、将来「私とコンタクトをとりたい！」
というきっかけになるかもしれません。

ですから、このレポートは「私のため」であり、「皆さんのため」でもあります。

「皆さんのためにならないと私のためにならない」からこそ、
皆さんに稼いでほしいと思うわけです。

これは「本音」です。

輪廻転生。

私はこれを支持するタイプです。

私の会社や個人で募金をしています。将来的には「私がこの世からいなくなっても募金や寄付ができる組織作り」を目標としています。

これも最初は「やや上から目線」でした。

(募金をして誰かを救っている自分はえらくね～？のような)

しかし、最近は違います。

「もし輪廻転生があるとしたら、現世の自分が作り上げた寄付の仕組みで、来世の自分がサポートを受けたら、自分で自分のめんどろを見ることになるのでは？」

という思考でしています。

いかがでしょうか？

本音でしゃべってますよね？(笑)

ちょっと志の高いことを言えば、先進諸国の人は恵まれているわけです。

それを「シェア」することは大切だと思います。

貧困に苦しむ途上国では、食べ物がない、水が汚い、そんなことで1日何万人もの子供が死んでいる、むごすぎる現実。

「学校に行って勉強がしたい」

些細な夢を見ることも忘れ、毎日を生きたためだけに必死に戦わなければならない。
小さな子供であっても、厳しい現実には打ちひしがれている暇もない。

日本は恵まれています。

100人で地球全体を表す絵本だったか、本だったかが出ていましたが、
地球規模で見れば日本に生まれたというだけでめちゃくちゃ恵まれているわけです。

「俺はそんなことない！」と言う方がいれば、それは先ほどの2. な人でしょう。

話は変わりますが、私は体育会系出身です。

体育会系にはメリット、デメリットがありますが(笑)、私自身が良かったのは

先輩が「今度はおまえらが後輩に奢ってやんな」と言って
食事をごちそうしてくれたことです。

当然、私は後輩に「まったく同じことをして、同じセリフ」を言っていました。

「今度はおまえらが後輩に奢ってやんな」
(そして自分のセリフにちょっと酔う(笑))

このマインドは是非広がってほしいものです。
(映画の「ペイ フォワード」のように)

本当の成功者、つまり、ビジネスで自分が成功して終わりではなく、
その後続く人をサポートする成功者。

こんな方がもっと増えれば、日本は楽しくなっていると思います。
(と言っても、私自身が成長過程の身ですが、皆さんとそんな本物の成功者を
目指したいと思います。)

■ 「答えはすでに知っている」

2006 年に開催したセミナーで、私がお場にいた人に言ったことがあります。

「アフィリエイトで稼ぐ答えは、すでに皆さん知っているはず」と。

地味なことを、地味でなくらいすると凄いことになる。

これは、真実です。

腕立て伏せ 10 回(これは誰にもできるはず)を毎日してください。

⇒腕が太く逞しくなります。たとえ 10 回でも。

腹筋 10 回を毎日してください。

3 カ月後には、腹筋が割れてきます。

実は、すべてのことは意外と「シンプル」です。

複雑にしているのは実行者。

当たり前のことを当たり前にする。

ただこれだけのことで人より抜きん出することは可能です。

何故なら「当たり前」のことが「当たり前」にできない人が世の中にはたくさんいるから(笑)。

次に大切なのは「見破る」こと。

「実はシンプル」という稼ぎ方を知っている人が、以前の私のようなセコイ人間だった場合、「情報操作」という手法に出ますから。(そして参入者を減らし、実は自分はそれをやっているというセコさ(笑))

■ この時代に、何故アフィリエイトを選ぶべきか???

アフィリエイトとは何か？

その仕組みは後から説明させていただくとして、
まずアフィリエイトは「自由」です。

月 1 万を得られれば満足な人から、月 8 桁を得ている人まで。

「自分の目指す額」を「自分の好きな関わり方で」

これがアフィリエイトをおすすめする理由です。

(ただし、「ただラクしたいだけ」の人が参入して稼げるほど甘くないです。
ちゃんと身につけるべきスキルがあり、考え方があり、常識が当然あります)

冒頭で「スキルが上でも収入が低くなる例」を紹介させていただきました。

いくらアフィリエイトが今の時代におすすめと言っても、今のタイミングで
参入されない人がいるかもしれません。

が。。

「後から参入するほど、求められるスキルは上がる」ということは覚えておいてください。
(先輩アフィリエイターはさらに稼ぎを増やしていきます。ただし、何割かの人は
「月収 7 桁の森」に迷い込みますので。(笑)その分市場が埋まることはないですが)

しかし。。

「アフィリエイトの魅力、得られる物」から考えれば、是非参入すべきだと思います。

学歴は問われない。

すべては「結果」次第。

性別も関係ない。

働く時間も自由。

極端に言えば「人と関わる必要さえも」ない。

いかがでしょうか???

他にこんなビジネスモデルがあるでしょうか???

「ネット社会」というインフラが整い、

「まだ自分のまわりにアフィリエイトで生活している人間が少ない」今は

「まさにチャンスの時期」なわけです。

2、3年前ならば「まぐれ」で稼げた時期がありました。

検索エンジンもまだ「進歩」しておらず、極論「勢いだけで戦略ナシ」でも稼げたわけです。

しかし、今はそういった「大味」な方法では稼げなくなっています。

が、5年たてば、「あ、アフィリエイト？〇〇さんと〇〇さんがそれで生計立ててるよ」と

当たり前のように会話に出てくる時代が到来するかもしれません。

その時に参入を決めれば、当然今より「必要なスキルや知識」は増えているでしょう。

(ネット社会の進歩速度は速いですから)

インターネットの利用者人数は年々増えています。

アフィリエイト経由の売上が 5500 億。

知っていましたか???

ちなみに、これは今後も増えます。

何故増えると言いきれるのか？

まず広告主。

「うちアフィリエイトで売ってんねん」という企業がどれくらいありますか???

=まだまだ参入していない企業だらけ。

次に購入者。

インターネットをフル活用している家庭がどれくらいあるか???

だいたいまだ「オフラインの店」で購入しているでしょう。

次に世代交代。

携帯や PC 環境が当たり前の世代が今後成人していきます。

=ネットで物を買うことに抵抗がない。

次にビジネスモデル。

ネットでバシバシ売れるのに、経費がかかる店舗を持つ必要ありますか???

今後ネットでしか手に入らない商品、ネットでしか売らない店が増えるでしょう。

=まだまだ伸びしろだらけの業界ということです。

アフィリエイトでどんな生活が手に入るのか？

簡単に言うと「目覚まし時計のない人生」が手に入ります。

次に「生活すべてが稼ぎネタ」という人生が手に入ります。

土地にしばられない生き方が手に入ります。

人に左右されない人生が手に入ります。

■ アフィリエイトについて

アフィリエイトについて、ここでおさらいしてみます。

歴史を振り返ってみると、いわゆるインターネットが一般社会に普及し始めたのは1990年代の半ばくらいから。

その頃になると、日本でもインターネットに接続する業者であるインターネットプロバイダが登場し、そこへ Windows 95 の発売が重なり誰でも一応はネットを楽しめるようになったといわれています。

しかし、実際、この時代にネットを使っている人といえば研究者、もしくは本当に限られた技術者程度で、ネットでビジネスなんてことは、ほぼ不可能でした。
(日本語圏)

仮に、その時代にどんなにいい物をネットで売っていたとしても稼げなかったでしょう。

インフラが整ってなかったからです。

ただ、その後インターネットの技術革新はどんどんと進み、爆発的にネットを利用する人口が増えました。

通信費用が下がり、通信速度があがり、PC の価格が下がり、「日本人のインターネットスキル」の底上げが起き、現在、日本の人口の半分がネットを利用していると言われています。

今やインターネットは、
年代や性別、国境も関係ない。

無限に顧客が溢れ出るインターネットは、
ビジネス界からすれば「お宝の宝庫」状態です。

顧客の数は、あなたが考えているよりずっと多いわけです。

逆にネットを使わないビジネスモデルでは、潜在的な顧客数が限られてきます。
リアルショップを展開すると、どうしても地域的に限定されることが多いわけです。

業種にもよりますが、よっぽどの店でない限り
日本全国から、ある店にわざわざ集まってくるとは考えにくい。

また、24時間お店を営業しておくことがそのまま売上アップにつながるか？
⇒そうとも言い切れないわけです。

店を営業している間の人件費と光熱費を考えると、
必ずしも24時間オープンが良いとは言い切れないからです。

インターネットでは、そういったことはありません。

たった1つの通信機能(有線か無線か)で日本全国、もっと言えば
全世界のいたるところに一瞬で店を構えたと言っても過言ではないわけです。

逆に言えば、世界中にあるパソコン、1台、1台があなたの店になる可能性がある
ということです。

しかも、少ない経費で 24 時間営業が可能となり、
客は勝手に自分の好きな時間を選んでやってきてくれる。

そして、喜んであなたのために金を落としていってくれる。
(例 店が閉まっている時間に購入予約ができ、その日もしくは次の日には
家まで届けてくれる便利さ)

最も効率のよい金儲けのシステムが育つ土壌が既にできあがっているわけです。

もし、リアルなビジネスの経営者でネットを活用できていないとしたら、
潜在的売上をかなり「儲けそこなっている」と思われます。

初期投資やランニングコストが低い。
これもネットビジネスの魅力です。

例えば最小限必要な物。

ドメインやサーバー。
だいたい年間 5000 円程度。

あとはこれに「アイデア」がはまれば、億万長者。
(実際、クックパッドなどは上場までしました)

基本的にビジネスで「先行投資が低い」ほど、黒字までの時間が短くて済みます。
先行投資が低いという観点からいくと「アフィリエイト」は外せないわけです。

知らない人のために、「アフィリエイト」とは何か???

アフィリエイトとは、そもそも「提携する」といったような意味で、
成果報酬型広告と呼ばれているものです。

あなたが企業と提携し、その企業の広告をブログやメルマガに掲載します。

すると、あなたのブログに訪問した人、メルマガを見た人がその広告に興味を持ち、
クリックして紹介した企業のサイトに移動。そして、そこで商品を購入すると、
それに応じた報酬があなたに支払われるという仕組みです。

このアフィリエイトの面白いところは、誰でも簡単に、
誰もが知っているような大手企業と、広告掲載を通じて一種の業務提携ができること。

通常、個人で大手の企業と業務提携を結ぶなんてことはほぼ不可能でしょう。

例えば、ソニーの広告を掲載したいと考えて、ソニーに単身乗り込んでいったとしても
無駄なことぐらいすぐに分かると思います。

しかし、アフィリエイトではそれが可能となります。

しかも、提携のための費用はかからない。

まったくの無料。

ASP と呼ばれるネット上の広告代理店に「サイトやブログ」を登録するだけで
始めることができます。

ただし。。

「提携ができる＝売上がすぐにあがる」わけではありません。

が、

少なくとも「アフィリエイト」という仕組みを使わずビジネスをするより、
数段有利にビジネスがスタートできることは
おわかりいただけますでしょうか???

■ 何故、アフィリエイトは無料で参加できるのか？

そもそも何故アフィリエイトというシステムが無料で提供されているのか？
についてお話ししたいと思います。

理由は簡単です。

ASP:アフィリエイト・サービス・プロバイダーに、広告主である企業が
登録料や販売時に発生する手数料などを支払っているからです。

ASPはこの企業からの収入があるので、アフィリエイト(アフィリエイトする人)に
無料でサービスを提供できるということです。

もちろん、金を支払っている企業にも大きなメリットがあります。

たくさんのアフィリエイトが自社のサービス(商品)を販売してくれば、
販売窓口が大きく広がるからです。

ネットでは24時間、365日お客様はいます。

企業はこの潜在顧客に対して「アフィリエイト」という強力な販売手段を使って
自社の商品をアピールできる。

アフィリエイトはいわば、ネット上での販売代理店なのです。

しかも、基本的に商品が売れた時にしかアフィリエイトに支払う報酬は発生しないので、非常に効率のよい宣伝手段となります。

通常企業は、紙媒体や看板などに「広告費」を払っています。

しかも、それは「売れるかどうかわからない」

しかし、アフィリエイトという仕組みは、基本的に「売れた時だけ払えばいい」

今後も、アフィリエイトという仕組みを取り入れる企業は増えていくでしょう。

だからこそ、企業はアフィリエイトを獲得するために ASP に金を払います。

これが、あなたが無料でアフィリエイトに参加できる理由です。

企業側ではなく、アフィリエイトとして参加することは、現代の錬金術と言っても過言ではありません。

無料ブログや、かかったとしても年間 5000 円ほどの「独自ドメイン+サーバー」という土地を使い生み出される報酬は、まさに青天井です。

いかがでしょうか？

アフィリエイトという仕組みや可能性についてご理解いただけただけでしょうか???

具体的にいきます。

例えば大阪から北海道に旅行したとします。

この体験談を書いたとしましょう。

まず、飛行機チケットがアフィリエイトできます。

次に、旅行に持っていくデジカメやその他の旅行グッズがアフィリエイトできます。

当然、北海道のガイドブックがアフィリエイトできます。

ちょっと書くだけでもこれだけアフィリエイトできます。

ここであなたと同じ旅行プランで行きたい人が、
あなたのホームページやブログから申し込みをすれば、
あなたには「アフィリエイト報酬」が手に入ります。

しかし、これはまだ「省略した説明」です。

実際私はひとつの旅行で、少なくとも 30 点くらいアフィリエイトする自信があります。

ちょっとだけ追加で書くと「レンタカー」もありですよ???

(これ以上は塾の内容になってくるので書きませんが。。)

旅行＝旅行しかアフィリエイトできない。

こう短絡的に考える人と、旅行というジャンルから 30 点くらいのサービスや商品のアフィリエイトが思いつく人。

稼げる、稼げないに向き不向きがあるとしたら「発想力」かもしれません。

しかし、これは「発想力のある人に聞けばいい」だけです。

■ 最後に

現在のネットビジネスの環境は、誰でも月数百万くらいなら稼げるような状況にあります。

と言っても、「すべきことをしたら」です。

1日15分の作業で、次の日から毎月100万入ってくるという話はありませんし、当然ビジネスですから身につけるべきスキルや知識はあります。

しかし、「ネットで稼げる環境が整った&実際に稼いでいる人が増えてきた」からこそ、でたらめな情報をたくさん提供している人がいるのも事実です。

あなたが、もし、こういった目先・・・いや、まったく役に立たない情報に飛びついて喜ぶような人ならば、ここで「さよなら」です。

永遠に「夢を見させてくれるだけ」の情報を追い求める人生を送るのも各自の選択ですから。

私は「誰でも、簡単に、すぐに、稼げる！」という、「嘘」をつくつもりは、さらさらありません。

稼ぐことについて真剣に考えない人に対し、どんなに「稼げる方法」を伝えたところで「聞いて満足」する人になると思うからです。

真剣に考えない人は「作業」をしません。

方法を知っても「実行」しません。

何故なら「真剣に考えてない＝刹那的に生きている」
⇒そんな人はアフィリエイト向きではないからです。

逆に言えば、「しっかりとアフィリエイトに向き合う覚悟」がある人は、
少なくとも半年～1年半でサラリーマン時代には考えられなかった報酬を
手にする人もでてくると思います。
(実際、私がしている塾では月7桁の方がごろごろいます)

私自身、2005年12月にアフィリエイトに参入して、まだ4年経っていません。

ネット以外の世界で4年といえば、まだ「下っ端」でしょう。

しかし、ネットの世界では、半年たって「初心者です」と言っていると
「恥ずかしい」世界です。

それほど「移り変わりの速度」が速いわけです。

おさらいです。
アフィリエイトでどんな生活が手に入るのか？

簡単に言うと「目覚まし時計のない人生」が手に入ります。

土地にしばられない生き方が手に入ります。

人に左右されない人生が手に入ります。

ということは「本業＋アフィリエイト」をすると、
あなたの収入は「倍以上」になるということです。

あなたもぜひ、人生にアフィリエイトという仕組みを取り入れてみてください。

■ DVD プレゼントのお知らせ ■

最後まで読んでくれたあなただけに、以下のページで、実際に 2,980 円で販売している「K'sセミナー2 DVD」を無料プレゼントしますので、よろしければ受取ってください。



<http://www.sublime-k.com/k-semi2/>

お申込みは、こちらからお願いします。【完全無料】

↓ ↓ ↓

<http://www.sublime-k.com/k-semi2/free/>

※上記のURLは、一般公開していません。転送等は、ご遠慮くださいませ。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

K